

コーパスにおける“是不是”構文に関する一考察

楊, 明
九州大学大学院地球社会統合科学府

<https://doi.org/10.15017/1959214>

出版情報：地球社会統合科学研究. 9, pp.91-101, 2018-09-25. Graduate School of Integrated Sciences for Global Society, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

コーパスにおける“是不是”構文に関する一考察

ヨウ
楊

メイ
明

1 はじめに

中国語では疑問文として“是不是”構文がよく使用される。これまで“是不是”構文について統語的観点から対照的観点まで多くの先行研究が行われてきた。(陶煉1998、邵敬敏・朱彦2002、宇都2003など)しかしながら、“是不是”構文の意味分布に関する語用研究は少ない。『中日対訳コーパス』などのコーパスを調べてみると、“是不是”構文を日本語に対訳するときに、「ではないか」「そうでしょう」などの他にも「な」「ね」などの語気助詞に訳される場合もあることが分かった。このような“是不是”構文の多義性に着目し、『中日対訳コーパス』を利用した分析を行う。

2 “是不是”構文に関する先行研究

陶煉(1998)は、従来の中国語“是不是+VP”を「“是不是”疑問文」と名付け、“是不是”が文末に現れる“……，是不是”は、“……，对不对”と同じ文法特性を持つことから、反復疑問文と見なし、「諾否疑問」、「疑問詞疑問」、「反復疑問」、「選択疑問」と同等であると指摘した。

邵敬敏・朱彦(2002)は、“是不是+NP”を一般的な反復疑問文とみなし、“是不是+VP”は肯定的な傾向を持つとした。“是不是+VP”の機能を「既知の事実に対して確認を求める」「合理的に推論して証明を求める」「主張を定めて同意を求める」「意見を提出して同意を求める」の4種類に分類した

これに対し、宇都(2003)は文頭または文中に位置する「文成分型」(構文的意味「命題が真であることの確認」と、文の後方に位置する「追加型」(構文的意味「命題が真であるという話し手の判断そのものが妥当であることの確認」という二種類に大別した。両命題のスコープも「命題そのもの」と「命題が真であるという話し手の判断」で異なると指摘している。

これらの研究においては“是不是+VP”をめぐる議論がなされているが、“是不是”構文が表す意味領域の全般についてあまり詳しい記述はなく、それ以上の体

系的説明も行われていない。一方、中田(2015)は現代中国語における“是”を「構文」(construction)の枠組みで捉え、その意味と機能を明らかにすることを目的とした研究を行った。中田の研究では、以下のように中国語文法体系における“是”の位置付けについて指摘されている。「“是+NP”における“是”を「動詞」、「是+VP」における“是”を「能願動詞」(助動詞)と見なす……宇都(2003)が「文成分型」、「追加型」と呼ぶものを、それぞれ「文中型」(“是不是”が文頭に現れる場合と主語の後ろでVPの前に現れる場合の両方を含む)、「文末型」(“是不是”の前に停顿がある場合とない場合の両方を含む)と呼ぶこととする」と指摘している。

本稿では中田(2015)などの先行研究を踏まえて語用論的及び認知的観点からコーパスにおける“是不是”構文の全体像を考察する。

3 研究目的及び方法

本稿は、北京日本学研究中心中日対訳コーパスにおける“是不是”構文を研究対象とし、総体的に考察する。具体的には、“是不是”構文の使用頻度を把握し、機能により分類し、典型的な用例を取り上げ、“是不是”構文の使用特徴について見ていく。

まず、「中日対訳コーパス」を利用して“是不是”というキーワードで最初の例を抽出し、分析する。日本語訳は、コーパスに書いている訳文のまま記載するが、“是不是”の前後の文脈をより明瞭にするために筆者が例文を説明する際に解釈を行った。本文中では、以下のように原文、出典、日本語訳と記す。

例 ---中国語原文--- 《書名》(原文)
---日本語訳文--- 『書名』(訳文)

4 コーパスにおける“是不是”構文の調査結果

4.1 “是不是”構文の調査結果

“是不是”構文の分類については、宇都(2003)と中田(2015)において言及されている。宇都(2003)では、“是

不是”が文頭または動詞の直前に位置する場合と文の後方に位置する場合に分け、前者を「文中型」、後者を「文末型」「VP+是不是」構文と呼ぶこととした。「文中型」は“是不是”が文頭に現れる場合と、主語の後ろでVPの前に現れる場合の両方を含む。「文末型」は“是不是”の前に停頓がある場合とない場合の両方を含む。中田(2015)では、それぞれ「文中型」、「文末型」と呼ぶこととする。本稿では、宇都(2003)と中田(2015)の分類を用いる。調査によって、“是不是”構文の全体において、「文中型」の使用頻度が最も高いことが分かった。具体的な各分類の意味用法については、以下に例を挙げながら分析する。

4. 2 「文頭型」“是不是”構文

例1 “是不是老师特别向着你？那样的话，别的学生，别的家长会说些什么？现在考得好又有什么用呢？宪兵队里关押着的，带到刑场枪毙了的，都是功课好的呢！”《活动变人形》(原文)

「先生がひいきしてはるんろ？ならば、他の子や父兄は何ていうかしらん。今いい点とってもしょうがないの。憲兵隊に捕まって銃殺されてんのは、みんな成績の良かった人たちばかりなんよ！」『応報』(訳文)

例2 “你怎么不说话？这儿又没有第三个人听见。是不是你现在不喜欢我了？”他故意做出失望的样子说。《家》(原文)

「君はどうして話をしないんだ。ここじゃあ誰もほかの人はきいていないじゃないか。君は僕が嫌いになったんだね」彼はわざと失望したような声を出す。『家』(訳文)

例3 傅家杰见她躺下了，又埋头于稿子和书本。过了一阵，他虽并不曾回身，却感觉到陆文婷还没入睡。是不是灯光影响了她？傅家杰把台灯弯得更低些，又用一张报纸挡上，才继续工作。《人到中年》(原文)

傅家傑は彼女が横になるのを見ておいてから、また原稿用紙と書籍に頭を埋めた。暫くたってから、何も後ろを振り返った訳ではないが、陸文婷はまだ眠っていない気配を感じた。電灯のライトが邪魔になるのではないだろうか？彼はスタンドをグッと下に折り曲げて、その上に新聞紙をかぶせて仕事を続けた。『北京の女医』(訳文)

例4 他愈说愈兴奋，觉得自己好好的一件事已经被小气的两个人，苏世荣和钱永顺，活生生的破坏了。他紧皱着眉头，盛气地对老苏说：“谁叫你们乱出主意？我不要

这一块地！是不是你打算要？是不是永顺他打算要？”《霜叶红似二月花》(原文)

彼はいうほどに気がたかぶってきて、せっかくの事業が、蘇世榮と錢永順という気の小さい男たちのために、むざむざとぶちこわされてしまったように思えてきた。彼は、眉間にけわしいしわをよせ、蘇世榮に怒りをたたきつけた。「誰がそんな勝手な真似をしろといった。おれはあんな土地はいらん。ほしいのはおまえなんだろう。永順なんだろう」『霜葉紅似二月花』(訳文)

例5 周瑜贞看看他又看看我，摇了摇头，叹息了一声说：“吴遥同志，你就用这种态度对人吗！是不是你现在不能随便整人，就整你的部门，你的家庭？好！我不来打搅你了，大姐，我先走了。”《天云山传奇》(原文)

周瑜貞は彼を見、私を見て、首をふって溜息をついた。「吳遙同志、あなたは人にこういう態度をとるのね。今じゃあなたは勝手気尽に人をやっつけられないので、自分の部内と家の中で人をいじめてるんじゃないの？いいわ、お邪魔しないわ、おばさん、先に行ってるわね」『天雲山傳奇』(訳文)

例1～例5は文頭型“是不是”構文の代表例である。例1では、話し手が聞き手に「先生がひいきしているかどうか」を尋ねている。例2では、話し手が聞き手に「君は僕が嫌いになったかどうか」を質問する場面である。例3では、傅家傑が心の中で「電灯のライトが陸文婷の睡眠の邪魔になるのではないかと考えている。例4では、話し手が聞き手に「あんな土地がほしいでしょう」と質問する場面である。例5では、話し手が聞き手に「自分の部内と家の中で人をいじているという行為をしているかどうか」と質問している。

4. 3 「文中型」“是不是”構文

例6 我听见萧声就不由得我不担心：我将来是不是会走大哥的路。我不敢想。因为果真到了那个时候，我恐怕不能够活下去。我不会像大哥那样！”《家》(原文)

俺はこの簫の音をきいていると、なんだか憂鬱になってくる。将来大哥と同じ途を歩くんじゃないかとね。俺はそんな考えを打ち消したい。もしもそんな時が来たら、俺は恐らく生きてはいられまい。俺には大哥のようなまねはできない」『家』(訳文)

例7 “作画本来要看兴致，兴致好的时候作出画来也比较好些。况且这是大哥要你画的，所以画出来特别好，”我说着又把话题转到别的方面去，我问她：“嫂嫂，你是不是在回想从前在家的時候？”《家》(原文)

「画を描くには興が乗らなければいけないでしょう。興が乗ればいいものが描けると思います。ましてこれは大哥があなたに注文したんだから、とくにできがいいわけでしょうね」そういって僕はまた話題を別の方へもっていった。「嫂嫂、いま家にいっらっしゃったところのことを思い出していたんじゃないですか?」『家』(訳文)

例8 鸣凤并不回答。婉儿更委婉地低声追问：“你是不是心上有了人？我看你近来的举动有点奇怪。为什么不对我说真话？我不会告诉别人。我好比你的姐姐，你有什么话不可以对我说？”《家》(原文)

鳴鳳が答えないので、婉児はさらに低い声で婉曲に話をもちこむ。「ね、誰を愛してんのさ。このごろあんたの様子おかしいよ。なぜほんとうのこと話さないの。あたいがほかの人というわけじゃないの。あたいたちこんなに仲がいいんだもの。あたいはあんたの姉さんみたいなもんじゃないか。何があたいにいえないことがあんのさ」『家』(訳文)

例9 黄土仍不断地被运到土堆上，那个人始终拖着受伤的腿往来奔忙。我心里对他产生了深切的同情，我紧张地盯着他，生怕他再被那沉重的土筐压倒。盯着，盯着，我忽然发现他的一举一动都很象爸爸，但他的头发已经花白了。我的心忽悠一下提起来，爸爸现在是不是也在干着这么沉重的活呢？《轮椅上的梦》(原文)

土は切りなく穴から盛り土の上に連ばれ、けがをした人は足を引きずり行ったり来たりする。彼がまた、もっこの下敷きにならないかと心配で目が離せず見ていると、ふと彼の一举一動が父そっくりに思えてきた。父は、あんな白髪頭ではないと思直して、ホッとしたのも束の間、どこかで父も、こんな辛い仕事をしているのではないかという心配が頭をもたげた。『車椅子の上の夢』(訳文)

例10 柳原摇摇头道：“一个不吃醋的女人，多少有点病态。”流苏噗嗤一笑。隔了一会，流苏问道：“你看我做什么？”柳原笑道：“我看你从今以后是不是预备待我好一点。”流苏道：“我待你好一点，坏一点，你又何尝放在心上？”柳原拍手道：“这还像句话！语音里仿佛有三分酸意。”流苏撑不住放声笑了起来道：“也没有看见你这样的人，死乞白咧的要人吃醋！”《倾城之恋》(原文)

柳原は頭を振って、「やきもちを妬かない女なんて、どこかがおかしいんですよ」流蘇はクスッと笑い、しばらくたってから聞いた。「なぜそんなにあたしを見てらっしゃるの？」柳原は笑って、「これからは少し僕

に優しくしてくださるんじゃないかと思って」「あたしが優しくしようとしまいと、あなたが気になさることじゃないでしょう」柳原は手を打って、「そうこなくちゃあ。いまの言葉にはちよっぴりやきもちが感じられました」流蘇は思わず声を立てて笑い出した。「あなたのような方は見たことないわ。なにがなんでも人にやきもちを妬かせようとなさるんですのね」『傾城の恋』(訳文)

例6～例10は文中型“是不是”構文の代表例である。例6では、主人公が「自分が将来大哥と同じ途を歩くのではないか」ということを心配して推測している。例7では、話し手が相手に「思い出しているのではないか」と確認している。例8では、話し手が聞き手に「誰を愛しているでしょう」ということを尋ねる場面である。例9では、主人公が「父がこんな辛い仕事をしているのではないか」ということを心配して推測している。例10では、話し手が聞き手に「これからは少し自分に優しくしてくださるかどうか」と尋ねている。

4. 4 「文末型」“是不是”構文

例11 “是历史系三年级的。李……李，大概叫李绍桐。讲得不错是不是？”《青春之歌》(原文)

「歴史科の三年生。李……李、たしか李紹桐といった。かれの話、なかなかよかったですよ?」『青春の歌』(訳文)

例12 “挖出来，还要爱护，还要培养，锻炼是不是？”道静也笑着说。“李绍桐是一个英俊有为的青年，党应当十分爱惜和培养他成为后备军才对。”《青春之歌》(原文)

「掘りだし、そしてそれを大切に、しっかり磨きをかけ、きたえさせる、そうでしょう？」道静は笑った。「李紹桐は将来性のある、すぐれた青年だわ。党はかれを大切に育て、後続部隊にしあげるべきよ」『青春の歌』(訳文)

例13 “君才，”王教授像孩子一样兴高采烈地说，“你知道我们北大的情况近来大不相同了么？不光是那些青年小伙子全活跃起来了，几乎人人人口中都在谈论救亡问题；就连我们这些老头子、老教授们，也耐不住一腔热血，也都在一起座谈起国难问题啦！这就叫人心不死，人心不死是不是？”《青春之歌》(原文)

「君才」かれは、子どものように上機嫌だった。「われわれの北大の状況が、最近すっかり変わったことを、知っているかね？若い連中がみんな活躍しだし、ほとんどの者が、救国問題を論じはじめているだけでなく、わ

たしら老頭兎教授までもが、みな湧きたぎる熱血をおさえきれず、一緒に国難問題を討論する座談会をもったのだよ！人心は死なずとはこのことだな、人心は死なないものなのだ、そうではないかね？」『青春の歌』（訳文）

例14 “你还知道来哩！你干脆别来不更痛快！小莲蓬病死了你也不管是不是？我累死了你才痛快是不是？我是你们家的苦力！童养媳也比我强！我还活着干嘛？干脆一头撞死拉倒！”说着她竟激动地抽泣起来。《钟鼓楼》（原文）

「まあ。来るのを忘れたんじゃないのね。いっそのこと来なけりやいいじやなの。蓮蓬が病気で死んだって、あなたは平気なんですよ。わたしもへたばって死ねば好いと思ってるんだわ。わたしがあなたの家の女中だとも言うの。もう生きているかいないわ。早く死んじゃったらいいのよ！」とうとうしくしくとすすり泣きはじめた。『鐘鼓楼』（訳文）

例15 “老许，你看透了的是：我们的前进道路并不平坦，需要付出巨大的代价牺牲。你被这代价和牺牲吓退了。是不是？”《人啊，人》（原文）

「許君、君が愛想を尽かしたのは、われわれの前途が平坦でなく、巨大な代価と犠牲を必要としていることだ。君はその代価と犠牲の大きさに畏縮してしまった。そうじゃないかな？」『ああ、人間よ』（訳文）

例11～例15は文末型“是不是”構文の代表例である。例11では、話し手が「李紹桐という人物の話がなかなかよかった」という事実に対し、相手に同意を求めている。例12では、話し手が「人材を掘りだし、そしてそれを大切にし、しっかり磨きをかけ、きたえさせることが必要」ということに対し、聞き手に同意を求めている。例13では、話し手が「自分のような老頭兎教授までもがみな湧きたぎる熱血をおさえきれず、一緒に国難問題を討論する座談会をもったという現状から、人心は死なずということが見える」という感覚について相手に共鳴を求めている。例14では、話し手が「蓮蓬が病気で死んだって、あなたは平気で、わたしもへたばって死ねば好いと思っている」聞き手のことを激しく非難する場面である。例15では、話し手が相手の「巨大な代価と犠牲に畏縮してしまった」という行為を確認している。

5 文末型“是不是”構文に関する考察

以上の考察から、『中日対訳コーパス』における「文頭型」「是不是」構文、「文中型」「是不是」構文、「文末

型」「是不是」構文の使用状況が明らかになったと同時に、いくつかの事実についても明らかになった。

5.1 “你说(あなたが言う)”“您说(あなたがおっしゃる)”“我说(わたしが言う)”との共起関係

まずは、「文末型」「是不是」構文がよく「你说(あなたが言う)」「您说(あなたがおっしゃる)」「我说(わたしが言う)」と共起することである。以下の例文を参照されたい。

例16 “然而我的大男孩子的右脚的二拇趾压迫着中趾。当然，我还年轻，我要做学问，我要做一番事业。少壮不努力，莫等闲白了少年头，一寸光阴一寸金！用法语说，就是……杜公，该你赐教一二了，我说得太多了，你说是不是，尊意何如呢？”《活动变人形》（原文）

「しかし我が家の長男の右足第二指は、すでに中指压迫しています。もちろん私もまだ若いし、学問に励み、一端のことはやるつもりです。少壮努力せず、少年の頭を徒に白うする勿れ、一寸の光陰は一寸の金なり！フランス語でいうと……です。さて、次は杜公先生にお教をを請う番ですね。一人でシャベリすぎたようだ。ぜひ、ひとつ先生の御高見を！」『応報』（訳文）

例17 “除了肉，还要一盘肝和一盘腰子……火怎么还不上来？您给我那个小拔火罐……对，这样火候就可以了，再时间长就老了……真香，您说是不是？”《活动变人形》（原文）

「肉の他に肝と腎臓も一皿……火加減が不味いな……その火搔き棒を取ってください……さあ今が食べ頃、これ以上煮ると肉が固くなる……うん、悪くない、どうです？」『応報』（訳文）

例18 “不过，陆大夫，你也不要见怪。赵院长对你是很信任的。我们，当然也是信任你的。希望你不要辜负领导上对你的期望，要向上次给焦副部长做手术的那位大夫学习。当然，我们也要向她学习。你说，是不是啊？”《人到中年》（原文）

「でも陸先生、変に思わないでね。趙院長のあなたに対する信任はたいへんなものでも。私たちも、もちろんあなたを信じております。できれば上司のご期待にそむかず、前回焦次官の手術をなさった先生のようになさっていただきたいわ。もちろん私たちもその方を見習うべきだわ、そうでしょう？」『北京の女医』（訳文）

例19 “是了，四爷！”祥子想开了，既然又回到这里，

一切就都交给刘家父女吧；他们爱怎么调动他，都好，他认了命！“我说是不是？”虎姑娘拿着时候进来了，“还是祥子，别人都差点劲儿。”《骆驼祥子》（原文）

「へえ、親方」もうここへ舞いもどったからは、親方と虎にからだをあずけてしまおう、なんでも言われたとおりにしよう、いまさら仕方ないじゃないかと、彼は割りきってしまった。「あたしが言ったとおりにじゃないの」虎が頃合を見はからってはいってきた。「たよりになるのは祥子だけよ」『駱駝祥子』（訳文）

例20 “面子都给他，他也就不能不回心转意了。然后我再去，好歹的给他几句好听的，说不定咱们就能都搬回去。咱们一搬回去，管保挺起胸脯，谁也不敢斜眼看咱们；咱们要是老在这儿忍着，就老是一对黑人儿，你说是不是？”《骆驼祥子》（原文）

「面子さえたてば、お父つあんも機嫌をなおすよ。そのあとであたしが出かけ、すこしご機嫌とってやれば、すぐにも帰ることができるさ。天下晴れてむこうへ帰りさえすれば、もうだれもなんとも言えやしない。こんなところにいつまでもくすぶっていたんじゃ、それこそ一生日陰者だよ。そうだろう？」『駱駝祥子』（訳文）

例16～20は“是不是”構文が「你说（あなたが言う）」「您说（あなたがおっしゃる）」「我说（わたしが言う）」と共起する例である。直訳すると、意味は「あなたが私が言ったことについてどう思いますか」「あなたは私が言ったことが正しいと思いますか」となる。しかし、前後の文脈を見ると、「私が言ったことは正しいですよ」「私が言ったことに賛成してください」の訳がもっと適切であると考えられる。“你说（あなたが言う）”“您说（あなたがおっしゃる）”“我说（わたしが言う）”の後ろに“是不是”がきて「会話の原理」に沿い、円滑に相手に同意を求める手段であると考えられる。

5.2 会話マーカー

また、「文末型」“是不是”構文がよく会話マーカーとして使用されることも分かった。以下に例文を示す。

例21 “哦哦，自然你是不会多嘴多舌的，不过——”赵守义的声音更低，几乎不大听得清，“我倒防着楼上那一个会先发制人，悄悄地找了根宝来，逼着他领了阿彩回去，那时倒更加棘手了，是不是，所以……”《霜叶红似二月花》（原文）

「ふむふむ、あんたの口の固いのはよくわかっておるよ。ただ」趙守義は、いっそう、声をひそめた。聞きとるのに苦労するほどだった。「わしの心配している

のは、二階のあれが、先に手を打ちやしないかということだ。もしも、わしにかくれて陸根宝を呼び寄せ、無理矢理、阿彩を連れ帰らせたりされたらたまらんからなあ。それで……」『霜葉紅似二月花』（訳文）

例22 “怎么过不是过一辈子呀，是不是，文哥？”《小鲍庄》（原文）

「どんな生き方だって、一生は一生だもんね、兄ちゃん」『小鮑莊』（訳文）

例23 “各人有各人的过法，是不是，文哥？”《小鲍庄》（原文）

「生き方は人それぞれだよ、兄ちゃん」『小鮑莊』（訳文）

例24 几天的容忍缄默似乎不能再维持，象憋足了的水，遇见个出口就要激冲出去。正当这个工夫，一个车夫又指着他的脸说：“祥子，我说你呢，你才真是‘哑吧吃扁食——心里有数儿’呢。是不是，你自己说，祥子？祥子？”《骆驼祥子》（原文）

この幾日か、堪えに堪えてきたことが、いまにも爆発しそうになった。あふれるばかりにたまった水が、はけ口を見つけて吹きだそうとするようなものであった。そのとき、またひとりの男が、彼の鼻先に指をつきつけた。「とぼけるなよ、祥子。ちゃんとそろばんはじいてるくせしやがって。な、そうなんだろ、祥子」『駱駝祥子』（訳文）

例21～24は“是不是”構文が会話マーカーとして使用されている例である。いずれも会話の場面で使われており、いくつか共通点がある。まずどちらも話し手が聞き手に何かについて話している場面である。陳述している途中で、ある事実に基づいて主観的な観点を加えている。こういう場合、単なる質問や推測ではなく、円滑的に相手の同意を求めるあるいはある勧誘の語気をするということである。すなわち、ディスコースマーカーともいうことができるだろう。その言葉自体に意味はないが、会話中相手のフェスを潰さないように会話を順調に進めるように使用される言語表現である。「フィラー」と類似的な機能を持っている。

この点について、中田（2015）によりも言及されて以下のように述べている。

「“是不是”は直前の文（単文、複文を含む）のみならず、テキストの中で発話マーカーとして作用することもある。

(195) 周凡:还有你一回家,是不是,你可能有这臭毛病,一回家就鞋啊,袜子,裤子随地乱扔,你说你到周末,你是不得自己收拾?

[それから家に帰ったら、すぐ靴や靴下を適当に脱ぎ散らかして、週末になったら自分で片付けなきゃならないだろう?]

(テレビドラマ《結婚前規則》)

(196) 任大伟:所以说这事咱不能急,咱得慢慢挑,咱晓璐那条件,这长相,是不是,咱不愁嫁不出去。

[だからこのことは急いではいけないんだ。ゆっくり選ばないとね。晓璐の条件、見た目から言って、嫁に行けない心配はないだろう。]

顾大海:再漂亮她也三十了,那香椿芽儿再嫩,过了谷雨也没人要了。

[どんなに綺麗でも30歳だ。チャンチンの芽がどんなに若々しくても、穀雨を過ぎたら誰も要らないよ。]

(テレビドラマ《大丈夫》)

このような用法は、主に北京口語において見られるものである。(195)、(196)における“是不是”は、明確な意味を表していないため、省略しても文意を変えることはない。

(195) α 周凡:还有你一回家,你可能有这臭毛病,一回家就鞋啊,袜子,裤子随地乱扔,你说你到周末,你是不得自己收拾?

(196) α 任大伟:所以说这事咱不能急,咱得慢慢挑,咱晓璐那条件,这长相,咱不愁嫁不出去。]

(中田 2015:125 - 126)

筆者は中田(2015)の観点に基本的に同意しているが、主に北京口語において見られるという指摘についてはまだ検証していない。現段階では、社会及び地域文化の要素に触れていないため、コーパスのデータ調査から分かる結果だけを述べている。

5.3 置き換え関係

「文中型」「是不是」構文と「文末型」「是不是」構文はお互いに置き換えることができる。以下の例7、例8に示す。

例7 “作画本来要看兴致,兴致好的时候作出画来也比较好些。况且这是大哥要你画的,所以画出来特别好,”我说着又把话题转到别的方面去,我问她:“嫂嫂,你是不是在回想从前在家的時候?”《家》(原文)

例7 α “作画本来要看兴致,兴致好的时候作出画来也比较好些。况且这是大哥要你画的,所以画出来特别好,”

我说着又把话题转到别的方面去,我问她:“嫂嫂,你在回想从前在家的時候是不是?”

「画を描くには興が乗らなければいけないでしょう。興が乗ればいいものが描けると思います。ましてこれは大哥があなたに注文したんだから、とくにできがいいわけでしょうね」そうやって僕はまた話題を別の方へもっていった。「嫂嫂、いま家にいっらっしゃったことを思い出していたんじゃないですか?」『家』(訳文)

例8 鸣凤并不回答。婉儿更委婉地低声追问:“你是不是心上有了人?我看你近来的举动有点奇怪。为什么不对我说真话?我不会告诉别人。我好比你的姐姐,你有什么话不可以对我说?”《家》(原文)

例8 α 鸣凤并不回答。婉儿更委婉地低声追问:“你心上有了人是不是?我看你近来的举动有点奇怪。为什么不对我说真话?我不会告诉别人。我好比你的姐姐,你有什么话不可以对我说?”

鳴鳳が答えないので、婉児はさらに低い声で婉曲に話もちこむ。「ね、誰を愛してんのさ。このごろあんたの様子おかしいよ。なぜほんとうのこと話さないの。あたいがほかの人にいうわけじゃないの。あたいたちこんなに仲がいいんだもの。あたいはあんたの姉さんみたいなもんじゃないか。何があたいにいえないことがあんのさ」『家』(訳文)

例7は原文で、“是不是”が文中にある。例7αは置き換えられ文末にある。どちらも話し手(“我”)が聞き手(“嫂嫂”)に「いま家にいっらっしゃったことを思い出していた」ということについて質問する意味である。例8も同じく、“是不是”は文末に来て、話し手(“婉児”)が聞き手(“鳴鳳”)に「誰を愛している」という事実について質問している。

しかし、置き換えできない場合もある。以下に例を示す。

例11 “是历史系三年级的。李……李,大概叫李绍桐。讲得不错是不是?”《青春之歌》(原文)

*例11 α “是历史系三年级的。李……李,大概叫李绍桐。*是不是讲得不错?”

「歴史科の三年生。李……李、たしか李紹桐といった。かれの話、なかなかよかったでしょう?」『青春の歌』(訳文)

例13 “君才,”王教授像孩子一样兴高采烈地说,“你知道我们北大的情况近来大不相同了么?不光是那些青年小

伙子全活跃起来了，几乎人人口中都在谈论救亡问题；就连我们这些老头子、老教授们，也耐不住一腔热血，也都在一起座谈起国难问题啦！这就叫人心不死，人心不死是不是？”《青春之歌》（原文）

* 例 13 a “君才，”王教授像孩子一样兴高采烈地说，“你知道我们北大的情况近来大不相同了么？不光是那些青年小伙子全活跃起来了，几乎人人口中都在谈论救亡问题；就连我们这些老头子、老教授们，也耐不住一腔热血，也都在一起座谈起国难问题啦！* 是不是这就叫人心不死，人心不死？”

「君才、」かれは、子どものように上機嫌だった。「われわれの北大の情況が、最近すっかり変わったことを、知っているかね？若い連中がみんな活躍しだし、ほとんどの者が、救国問題を論じはじめているだけでなく、わたしら老頭児教授までもが、みな湧きたぎる熱血をおさえきれず、一緒に国難問題を討論する座談会をもったのだよ！人心は死なずとはこのことだな、人心は死なないものなのだ、そうではないかね？」『青春の歌』（訳文）

例11と例13は置き換えできない用例である。例11では、話し手が聞き手に「歴史科の三年生の李紹桐の話がなかなかよかった」という自分の観点到同意を求める用法である。しかし、置き換えると、例11aでは話し手が聞き手に「歴史科の三年生の李紹桐の話はなかなかよかったですか」という疑問文になってしまう。例13では、話し手（“王教授”）が聞き手（“君才”）に「私は、若い連中が活躍したり、ほとんどの者が救国問題を論じはじめたり、老頭児教授までもみな湧きたぎる熱血をおさえきれず一緒に国難問題を討論したり、という今の北大の情況が、「人心は死なず」という言葉に相当すると思いますよ」ということについて同意を求めるわけである。しかし、例13aになると、また「今の北大の情況が、「人心は死なず」という言葉に相当すると思いますか」という疑問文となってしまう、語用的な機能を失う。

この置き換えの差異について、中田（2015）では「文中型」と「文末型」では、モダリティ階層において異なるレベルに属していることを指摘した。

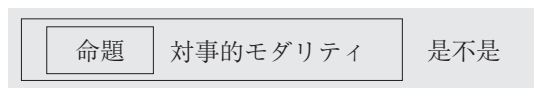
「文中型」“是不是+VP”の構造

話し手は「命題は成立するだろう」との認識の下で、“是不是”によって命題に対する「疑い」を表すことで、聞き手に〈確認〉を要求する。「文中型」における“是不是”は「命題」をスコープに収めるため、「対事的モダリティ」に属し、命題のみをスコープに収める。



「文末型」“VP+是不是”の構造

話し手は「話し手の判断は正しいだろう」との認識の下で、“是不是”によって聞き手に〈承認〉を要求する。「文末型」における“是不是”は「話し手の判断」をスコープに収めるため、「対人的モダリティ」に属する。命題及びそれを包む形で存在する対事的モダリティをスコープに収める。



中田（2015:101 - 102）

5. 4 “行不行（できるかどうか）”“好不好（いいかどうか）”“对不对（正しいかどうか）”と相当する付加疑問用法

中田（2015）の指摘によると、文末型は文中型より機能が多様であることが推測できる。また、邵敬敏・朱彦（2002）によると、文末型の“是不是”構文の疑問用法は「既知の事実に対して確認を求める」「合理的に推論して証明を求める」「主張を定めて同意を求める」「意見を提出して同意を求める」という4種に分けられる。

よって、本稿では、邵敬敏・朱彦（2002）と中田（2015）などの先行研究を踏まえ、それらの分類を基にして考察した。文末型に注目して考察を行った結果、文末型が持っているいくつかの特徴が明らかになった。以下のような意味分類に分けられる。

5. 4. 1 中心義：「単なる質問をする」

まずは「文中型」と同じく、「単なる質問をする」という中心義である。以下に例文を示す。

例 25 张金发想了想说：“你把我绕糊涂了。噢，你是让我在工作上偏一个，向一个，有薄有厚，看人下菜，是不是呀？这可不行。我是村长，是芳草地一百多个门口的村长，不是翻身户的代表，我对这一百多个门口，挨着数，只要他不是地主反革命，都得一个样对待。……”《金光大道》（原文）

張金發は考え考え言った。「おめえ、わしを口車にのせようってか。そうか、わしが仕事をするとき、片一方に偏向させて、えこひいきして、人を見るようになってんだな。そりゃだめだ。わしは村長だ。芳草地の百軒以上もの村長で、解放農家だけの代表じゃねえ、この百軒以上もの家を一軒一軒見る立場なんだ。地主とか反革

命でもねえかぎり、みんなおなじに面倒みなけりゃなんねえ……」『輝ける道』(訳文)

例26 “二林，听你嫂子说，你正搞着对象，是不是呀？”高二林忽地一下子脸红了。《金光大道》(原文)

「二林、女房からおまえに恋人ができたって聞いたんだが、そうかい？」とたんに高二林の顔が赤くなった。『輝ける道』(訳文)

例25と26は、単なる質問をするという中心義の用例である。例25では、話し手(“張金發”)が聞き手に「仕事をするとき、片方に偏向させてえこひいきして人を見るようにする」という自分に対する意見について確認して質問する用例である。例26では、話し手が聞き手(“高二林”)に「恋愛しているかどうか」について質問している。

5. 4. 2 拡張義：「已然のことを確認する」

さらに、已然のことを確認する拡張義の用法がある。例27に示す。

例27 那个人被他闹得一楞，大眼睛一眨巴一眨巴的，不知道该说什么。高大泉兴奋地说：“你忘了，三年前，我们从山东老家逃荒，走到蓟运河边上一个村子，我去要饭，让狗咬了，你给我好几个饼子。想起来了，是不是？”《金光大道》(原文)

男はびっくりして、大きな目をパチパチさせ、どうなっているのかといった顔付になった。高大泉は興奮していた。「忘れた？三年前、おれたちが山東の田舎を逃げだして、蓟運河のそばの村まできたとき、おれは喰い物にありつこうとして、犬に噛まれ、あんたが幾も餅子をくれた、思い出せねえがなあ」『輝ける道』(訳文)

例27は話し手(“高大泉”)が相手に「昔のことを思い出した」という事実について確認を求めている。例15も同じように、話し手が聞き手(“老許”)に「君はその代価と犠牲の大きさに畏縮してしまった」という事実について確認を求めている。

5. 4. 3 拡張義：「命令・勧告する」

次は「命令・勧告する」拡張義である。

例28 “既是还得去拉车，”曹先生慢慢的说，“那就出不去两条路。一条呢是凑钱买上车，一条呢是暂且赁车拉着，是不是？你手中既没有积蓄，借钱买车，得出利息，还不是一样？莫如就先赁车拉着。还是拉包月好，事情整重，

吃住又都靠盘儿。我看你就还上我这儿来好啦；我的车卖给了左先生，你要来的话，得赁一辆来；好不好？”《骆驼祥子》(原文)

「やはり車を引くということになるとだな」曹先生はゆっくりゆっくり言った。「道はふたつだ。金を工面して車を買うか、当分貸車を引くかだな。そうだろう？で、さしあたり手もとに金がなくて、借金して車を買ったんでは利子がかかるから、苦しいのはおなじだ。とにかく貸車でいくことだね。それも住みこみのほうがいい。たしかだし、食うほうも住むほうも心配ないから。そうとなると、またわたしのところへくることにしたらいいだろう。車は左さんに売ってしまったが、おまえがきてくれるとなれば一台借りよう。どうだね？」『骆驼祥子』(訳文)

例29 “嗯--- 怎么没有什么要特别注意的呢？我的同志哟，凡事预则立。思想准充分一些总好嘛，是不是呀？我看，还是我来一下吧，咱们当面研究一次。”《人到中年》(原文)

「フーム、どうしてまた特に注意することはございませんの？同志！物事はすべて予定を立てておくべきじゃございません。十分準備をしてからかかるべきではございません？そうね、やっぱり私お伺い致します。お目にかかって研究しておきましょう」『北京の女医』(訳文)

例30 “要看值得不值得。谈谈出书的问题倒也罢了。其他的问题去扯它干什么？中国有十亿人口，人家都看不出问题，就你们眼明心亮，是不是？”《人啊，人》(原文)

「いったいそんな値打ちがあるの？出版問題だけ書けば、それでいいじゃないの。ほかの問題を書いてどうするの？中国には十億の人口があるけど、だれも問題にしちゃいない。はっきり見えているのはあなた方だけなのよ。そうじゃない？」『ああ、人間よ』(訳文)

例31 “你为什么这样对我提问题？这样不大礼貌，是不是？”《人啊，人》(原文)

「君はどうしてあんなことをきいたの。ちょっとぶしつけすぎやしないかい」『ああ、人間よ』(訳文)

例28～31は話し手が文末型の“是不是”を使って聞き手に命令をしたり、勧告したりしているものである。例28では、話し手(“曹先生”)が聞き手に「車を引く」ということについて話し、厳密に理由を述べたり相手を緩やかに勧誘したりする。例29では、話し手が聞き手に「物

事はすべて予定を立てておくべきじゃないから十分準備をしてからかかるべき」と勧告している。例30では、話し手が疑問の形を使って聞き手に「出版問題だけ書けば、それでいい。ほかの問題とか余計な事しないでください」と厳しく勧告している。例31では、話し手が聞き手の質問マナーが悪いことを厳しく勧告している。

5. 4. 4 拡張義：「感情的語感／感嘆を表現する」

最後は、「感情的語感／感嘆を表現する」拡張義である。以下に例文を示す。

例 32 张金发打断了他的话：“嘿，你今个跑到我这儿翻小肠，跟我搞清算是不是呀？”《金光大道》(原文)

「おい、おめえはわざわざひとの家さ来て、ごたくならべて、清算つけようってか」「口まがり」はあわてて言った。『輝ける道』(訳文)

例 33 “小憾憾，你真厉害呀！我伤了你的心，你也要伤我的心，是不是？”《人啊，人》(原文)

「小憾憾、きついなあ。ほくが君を傷つけたから、やり返そうとしたんだね？」『ああ、人間よ』(訳文)

例 34 话没说完，反倒被詹丽颖气呼呼地截断了：“我态度急躁？我倒犯错误了？我就该心平气和地把那条虫子吞进肚子去吗？他们熬出一锅虫子你们也不管是不是？倒怪我急躁了？那条虫子要盛在你碗里，你要不比我急躁才怪！……”《钟鼓楼》(原文)

そのことばがまだ終わらないうちに、詹麗穎が真っ赤になっていきりたった。「わたしの態度がきつかったですって？わたしが悪かったとでもいうの？あの虫を、おとなしく呑みこんでしまっというつもり？おかずが虫だらけでもかまわないのね。わたしの態度がきつただなんて。あの虫があなたのお碗の中に入っていたらどうなの。わたしよりもっと飛びあがるに決まってるくせに……」『鐘鼓楼』(訳文)

例 35 “你还知道来哩！你干脆别来不更痛快！小莲蓬病死了你也不管是不是？我累死了你才痛快是不是？我是你们家的苦力！童养媳也比我强！我还活着干嘛？干脆一头撞死拉倒！”说着她竟激动地抽泣起来。《钟鼓楼》(原文)

[まあ。来るのを忘れたんじゃないのね。いっそのこと来なけりやいいじやなの。蓮蓬が病気で死んだって、あなたは平気なんでしょ。わたしもへたばって死ねば好いと思ってるんだわ。わたしがあなたの家の女中だとでも言うの。もう生きているかいがないわ。早く死ん

じゃったらいいのよ！】+++ とうとうしくしくとすすり泣きはじめた。『鐘鼓楼』(訳文)

例32～35はある事実を確認及び推測するとき、語用的語気が含まれている。例32では、話し手(“張金髮”)が相手に「おめえはわざわざひとの家さ来てごたくならべて清算つけようでしょう」ということを断定しながら非難する。例33では、話し手が聞き手(“小憾憾”)の「ほくが君を傷つけたから、やり返そうとしたきつさを持っている」という行為について失望している。例34と35では、話し手が聞き手に怒ってイントネーションを上げて「わたしが悪かったとでもいうの？あの虫をおとなしく呑みこんでしまっというつもり？」「蓮蓬が病気で死んだってあなたは平気なんでしょ。」「わたしもへたばって死ねば好いと思ってるでしょう」と反問をしながら非難する。例13では、話し手(“王教授”)の「子どものように上機嫌だった」様子が見える。

6 おわりに

本論ではコーパスにおける“是不是”構文を対象とし、考察を行った。主に宇都(2003)、中田(2015)などの先行研究を踏まえ、“是不是”構文の意味分布の分析を行った。データを分析した結果、“是不是”構文を、文頭型“是不是”構文と、文中型“是不是”構文と、文末型“是不是”構文(“是不是”の前に“,”記号がある場合もない場合も含まれる)という三つのパターンに再分類できた。また、それぞれの実例を挙げてそれらの意味の違い及びスコープについて記述的な分析を試みた。特に、文末型“是不是”構文に注目し、共起関係、会話メーカー、付加疑問機能などについても考察を行った。これらの考察により、“是不是”構文の多義性が明らかになった。また、用法が「単なる質問をする」の中心義から「已然のことを確認する」「命令・勧告する」「感情的語感／感嘆を表現する」などの用法に拡張されたことを推測した。本稿は『中日対訳コーパス』におけるデータのみ収集したので、“是不是”構文の使用状況を全面的に敷衍できているとは言えず、また拡張義のほうもより詳しく分類する必要があるため、次の課題として、より大量のコーパスからデータを収集し分析してその仮説を厳密に検証する予定である。

参考文献

- 丁力(1999) <从问句系统看“是不是”问句>《中国语文》第6期 pp.415-420
 方梅(2005) <疑问标记“是不是”的虚化——从疑问标

- 记到话语—语用标记>《语法化与语法研究》(二) 北京:
商务印书馆 pp.18-35
- 中田聡美 (2015) 博士論文「中国語における“是”構文
の意味と機能」大阪大学 14401 甲第 18184 号
- 邵敬敏・朱彦 (2002) <“是不是 VP” 問句の肯定性傾
向及其类型学意义>《世界汉语教学》第 3 期 pp.23-36
- 陶炼 (1998) <“是不是” 問句说略>《中国语文》第 2
期 pp.105-107
- 宇都健夫 (2003) 「“是不是” を用いた「確認性疑問形式」
『東京大学中国語中国文学研究室紀要』第 6 号 pp.1-23

A Case Study of Chinese “Shi Bu Shi” Construction in Corpus

Yang Ming

To explore the syntax and relationships of “Shi Bu Shi” , this paper analyzed examples of the “Shi Bu Shi” construction using the “Chinese-Japanese Bilingual Corpus” . Through investigation of all the examples, it was revealed that the pattern of “Shi Bu Shi” construction is very frequently used in modern Chinese and that the “Shi Bu Shi” construction appears most frequently in the sentence final position. In addition, the “Shi Bu Shi” sentence-middle construction and “Shi Bu Shi” sentence-final construction are sometimes interchangeable. The “Shi Bu Shi” sentence-middle construction can be replaced by “Shi Bu Shi” sentence-final construction in most cases (e.g.: as a single questioning process), but the latter option cannot be substituted by the former under certain contexts because it has unique functions (e.g.: as asking for permission, as making suggestions politely, as establishing a fact and so on). Through the analysis of the semantic expansion process of the “Shi Bu Shi” sentence-final construction, we also found that the “Shi Bu Shi” sentence-final type has a high co-occurrence relationship with “Ni Shuo” or “Nin Shuo” or “Wo Shuo” phrases. In these cases it serves as a discourse marker. The study’ s most dramatic finding was that the “Shi Bu Shi” sentence-final construction plays an important role as a tag question in dialogues. Accordingly, we can also build up a hypothesis about the cognitive semantic network of “Shi Bu Shi” sentence-final construction.